

# 地域共創カレッジ

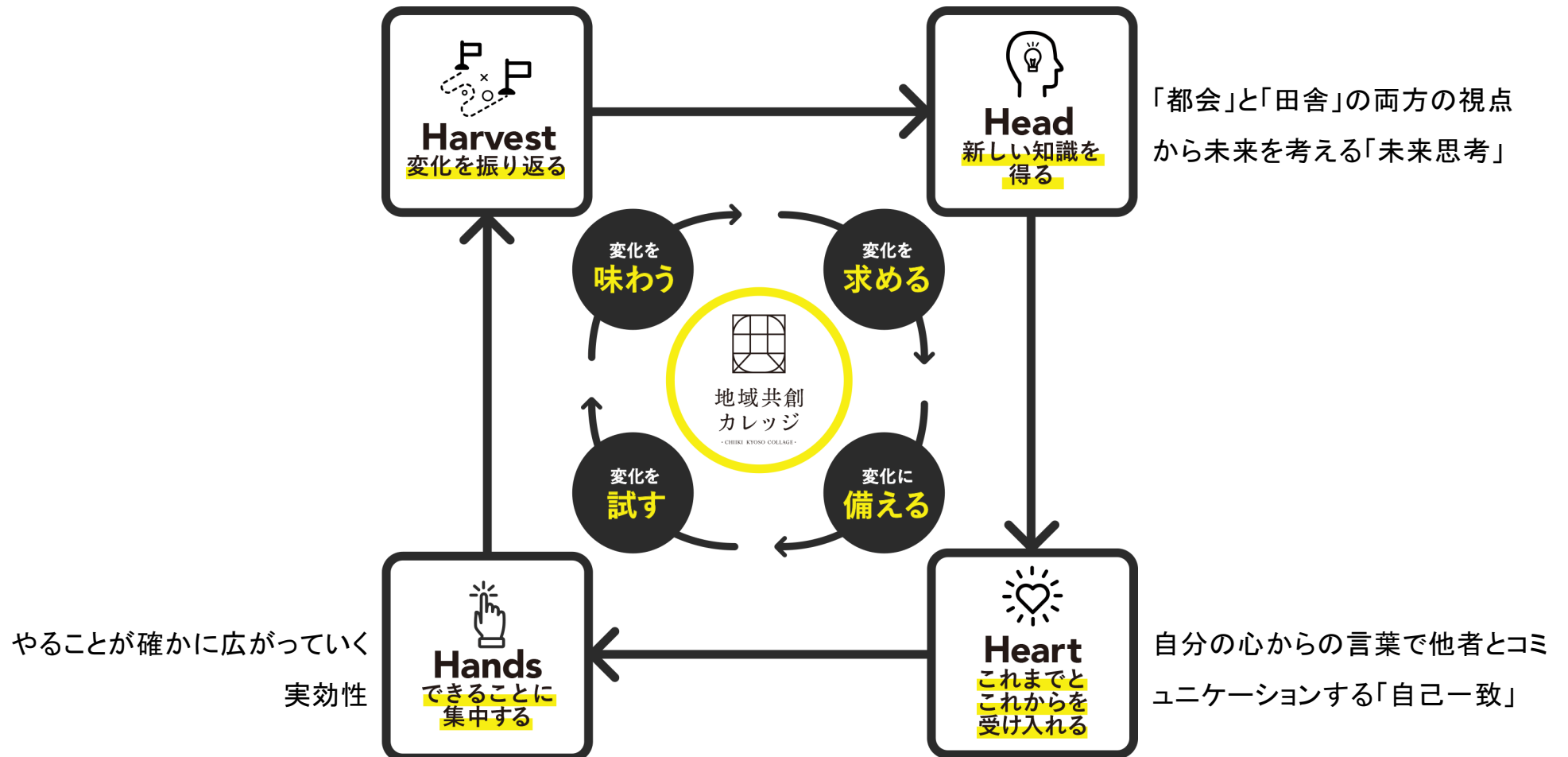
都会と田舎の共創関係モデルをつくり、  
地域課題解決への道筋を描く「理論と実践の学び場」

アスノオト

ASUNOOTO

目的	新しい共創モデルを創れる人材を育む
3ヶ月の ゴール	自分の身近な問題意識からマイプロをはじめると、 思いがけず周りの人が <u>関わってくれる</u> 、ことを実感する  * <u>関わってくれる</u> <ul style="list-style-type: none"><li>• アイデアを受け入れてくれる</li><li>• 手伝ってくれる</li><li>• 参加してくれる</li><li>• 人を繋げてくれる</li><li>• 場所・道具を提供してくれる</li></ul>
人数	10名～16名 Next Commons Lab 経由での地域参加を含む

信岡作成中の「地域共創カレッジ・カード」も、Head/Heart/Hands/Harvestの4項目に  
集約するように設計する



日程	要素	内容	目標	ゲスト
12/4	オープニング	カレッジの目指すもの、進み方、ホームグループづくり	カレッジへのマインドセット	なし
12/11	あすなるノート共有	あすなとノートの共有	カレッジ参加者を知る・テーマ設定の難しさを共有する	なし
12/18	あすなる自分編探求	自身を探り相似形を求めるとと私-仕事-世の中が繋がり、他者に繋がることを知る	自身を探求するための相互の関わり方(問いの質Up)	井上さん
1/8	地域ゲストの刺激	共創サイクルシナリオになぞらえて、地域での活動を共有	上手くいくイメージ・シナリオを膨らませる	地域講師
1/15	相互フィードバック	4人一組でお互いのあすなるノートを共有 & フィードバック	相互理解、自分編のブラッシュアップ	なし
1/22	PJTの後押し	早く試していい失敗をする/考えていることはすでに遅い/身体知を大切に にする	とりあえず、やってみようという気持ちになる	西村さん
1/29	システム思考	システム思考を学び、自分のPJTの位置づけ・今後の展開を考える	現状システムを動かすレバレッジポイントとしてPJTを捉える	枝廣さん
2/5	ストーリーオブセルフ	自身の価値観からくる選択と挑戦を人に伝える。	自身の選択や挑戦を他者の気持ちに届くように物語にする	会澤さん
2/12	地域ゲストの刺激	共創サイクルシナリオになぞらえて、地域での活動を共有	上手くいくイメージ・シナリオを膨らませる	地域講師
2/19	失敗の祝福	マイプロ(特にPJT)を共有 & フィードバック	失敗をナイスライとして捉えそこから学ぶ	なし
2/26	発表会後半	自分の言葉で、共感の仲間をつくる一プレゼン交換	3ヶ月間での自分・自分たちの変化、その要因を言葉にする	なし
3/5	発表会後半	自分の言葉で、共感の仲間をつくる一プレゼン交換	3ヶ月間での自分・自分たちの変化、その要因を言葉にする	なし